

議会報告会記録

○平成 29 年 5 月 17 日 ~18 日

【報告事項に関する質疑】

Q 1 : 一般会計の歳入の中で、市税収入が 21 億 6 千 400 万円となっていますが、ここ数年の市税の推移はどのようになっていますか。(志手町公民館)

A 1 : 津久見市の統計書の資料から、平成 23 年度から平成 27 年度の間は約 23 億円から約 24 億円の間で推移しています。

Q 2 : 人口が減ってきていて、歳入の額も減り、中でも交付税が少なくなってきて財政運営が厳しいのではないですか。(志手町公民館)

A 2 : 交付税の額は、平成 23 年度は 33 億 6 千万円、平成 27 年度は 32 億 9 千万円と少なくなってきています。この前の予算委員会での質問で人口が減ったときの交付税への影響については、国勢調査の結果を受けて約 2 億円減ってくるのではないかとの回答でした。

Q 3 : 今年の予算の歳入で、地方交付税が人口減少によって減額となったということですが、今後、人口が減っていくと地方交付税がどのくらい減っていくか、その見通しはどのようになっていますか。(西ノ内公民館)

A 3 : 地方交付税は、人口が減少することに起因して交付額が減っていきませんが、計算方法が複雑なため、今後どのように減っていくのかの正確な見通しは立てられないのが実情です。

Q 4 : 長寿祝い品の変更について、80 歳、90 歳で今まで祝い金をもらっていたが、今後は 100 歳にならないともらえないということですか。(志手町公民館)

A 4 : その通りです。削減した費用は、介護予防に使っていきます。

Q 5 : 平成 29 年度予算で、婚活サポート推進補助金というのがありますが、どういった内容ですか。(西ノ内公民館)

A 5 : 津久見市内で、婚活イベントを行う団体を募り、1 団体に上限 20 万円まで婚活イベント関連の費用補助を行うものです。(5 団体 100 万円を予算計上しています。)

Q 6 : 平成 29 年度予算の中に、『ふるさと寄付金特産品返礼事業：1875 万 6 千円』とありますが、どのくらいの寄付(ふるさと納税)が行われるとされていますか。また昨年のふるさと納税の寄付額は、いくらでしたか。(西ノ内公民館)

A 6 : 平成 29 年度は、5 千万円の寄付額を目標としております。5 千万円の寄付に対して、返礼品として本事業の予算を 1875 万 6 千円計上しています。尚、昨年のふるさと納税関連の寄付額は概算で約 2,800 万円でした。

Q 7 : 市外に住んでいる人が、津久見市内の空き家を壊す場合の補助がありますか。(網代公民館)

A 7 : 都市建設課で、空き家解体の補助事業を、5 月中の期間で受付を行っています。補助対象となるかを確認する必要があるため都市建設課に確認して下さい。

Q 8 : 議会活性化委員会では色々な会議を行われていますが、実際にはどのような成果が出ていますか。(西ノ内公民館)

A 8 : 議会活性化委員会では、議会を活性化するために色々なテーマについて議論しています。その中でも議会中継に取り組んでおり、6月議会か9月議会から録画中継が行われるよう取り組んでいます。また、議員の一般質問時の質問形式を一問一答形式を導入しました。尚、この議会報告会も議会活性化の取り組みの一つです。

【その他、市政に関する質疑】

Q 9 : 津久見市観光戦略の策定におけるパブリックコメントにおいて、意見・提案をしたが、それに対する回答等が、何処に示されているかよく分からず、商工観光課に置いていますかと聞いたら、置いていないと言われました。(志手町公民館)

A 9 : パブリックコメント期間中でしたら計画の素案は、商工観光課、出張所、支所等に置かれていましたが。現在どのようになっているか確認します。

Q 10 : 観光戦略の意見募集として、「つくみん公園に記念植樹をしたらどうですか」と提案しました。例えば、市民だけでなく広く県外の人にも募集を行い1本1万円とか負担してもらい、樹木に住所地、名前等の名札を下げる。そうすると記念植樹したひとが、自分の木を見に来るために観光客となり津久見を訪れると思います。と、市に提案したら、植樹と管理面で費用の問題があると回答がありました。それでは、シルバー人材センター等を活用したらどうか、と再度提案したが回答はありませんでした。(志手町公民館)

A 10 : 現在、つくみん公園では、津久見らしさを表すために公園に「鉾山のショベルのタイヤをモニュメントとして展示」しています。

Q 11 : 市民の意見に対し回答がないというのが問題であって、今後、市民がやる気をなくし何も提案しなくなるのではないだろうか。(志手町公民館)

A 11 : 提案、意見に対し回答することは大事なことだと考えます。

Q 12 : 市民の半分くらいの方はパソコンを使っていると思います。インターネットを通じて、提案した市民からの提案・意見等についての回答については、関心を持っていると思います。(観光戦略のパブリックコメントについて)(志手町公民館)

A 12 : 議会も戦略策定中の素案に対しては、意見交換を行い、また、パブリックコメントでの、市民からの意見、執行部の考えについて説明を受けました。資料について後日お届けします。

Q 13 : 現在の津久見駅は、観光客が大きな荷物を持ってきたらエスカレータ、エレベータが無いので昇降に大変不便です。現在、階段に昇降リフトが設置しているが、駅員に、使用の手伝いを申しでたら人間が足りないのでできないと断られました。費用対効果のことばかり言っていたら何も進まないのではないのでしょうか。(志手町公民館)

A 13 : J R の施設と言うことで、以前に議員が質問をしたときには、1日当たりの利用者数が3,000人以上有る駅でないとは設置は難しく、津久見駅ではその条件を満たしていないようです。

Q 14 : 駅の荷物を運ぶ方法として民間を活用するなど、色々な方法が検討できるのではないですか。東京の方の駅では、必要なときに民間の人が大きな荷物を運ぶサービス(ポーター)をしています

す。(志手町公民館)

A14：今の意見提案については、今回の議会報告会の報告内容として伝えたいと思います。

Q15：現在津久見市が所有している、大友宗麟関連の収集文化財を宇佐市などで展示しているが、他所での展示に費用などは発生していますか。また、これらの収集文化財を、津久見市内で見ることとはできませんか。(西ノ内公民館)

A15：前々市長の時代に、資料館を造る構想があり、大友宗麟関係の文化財収集を行いました。現在、宇佐歴史博物館に保管しています。津久見図書館内では、全ての収集品に対して満足な保管や展示が行えないため、県内の博物館や資料館などに、無償で貸し出しています。尚、津久見図書館では定期的に収集品の一部を展示しています。

Q16：川上地区の中には、土砂災害危険地域が3個所有ると臼杵土木事務所が来て説明がありました。しかし、それに対する対策について、いつ、どのようにするのか話がありません。今まで何も知らなかったが、今回危険個所について説明があり不安になりました。危険個所の説明をするだけでなく、今後の対策について計画はありませんか。(志手町公民館)

A16：現在は、自分の住んでいるところの危険性を認識してもらい、雨等が降って危険性が高まったときには、対象地域の人には早めの避難をしてもらうためです。

Q17：川上地区は、地震、津波災害時の避難場所は、岩崎鉱業の事務所跡地となっています。避難弱者はどうなるのか。避難場所で一夜を過ごすのに何もありません。この避難場所の先に、(株)タイセイの工場倉庫がありますが、その軒先でも借りることはできないでしょうか。(志手町公民館)

A17：この件については、持ち帰り検討します。

Q18：防災に関する予算の中で、西ノ内地区に使われる予算はどのくらいありますか？西ノ内地区内には小規模な河川があり、梅雨や台風などで増水し溢れる恐れがあります。一部で河川の土砂を取り除いて頂きましたが、他の部分も河川の堆積土砂を除去する予算はついていきますか。(西ノ内公民館)

A18：防災関連の予算は、市全体のものでありますので明確には答えられません。西の内地区でいくら使うかとかは、地区の区長さんからの要望などに準じて割り振られます。

○後日都市建設課に確認：質問のような災害対策費用は、機械借り上げ料として予算計上しているが、大規模災害になると、予備費等で対応しています。また、個別の河川に対する予算計上はされていません。

Q19：赤崎地区の、津波避難場所に十分な場所がありません。(赤崎公民館は、古く耐震性が不明です)。赤崎小学校横の神社の参道を上る道があるが、道が狭く地震などでそばの家が壊れて、避難路にならない可能性が高い。(網代公民館)

A19：担当課に、伝えます。

Q20：風水害災害時の避難場所が、千怒の市民体育館に市から指定されています。しかし、江ノ浦区から遠い上、途中の県道が狭く大雨時等には通行不能となることが多く市から指定された避難場所が、避難場所となっていません。

A20：担当課に、伝えます。

Q21：国道松崎バイパス工事の計画高が、二転三転している。最初は、道路の計画高がJRの軌条と同じ高さと言っていたが、今はJRより下がると言っている。このとき、通行車両の騒音が志手地区に影響が出ると思います。また、車のライトの影響も出てくるとは思います。その対策は行ってもらえますか。(志手町公民館)

A21：臼杵土木事務所も、夜中の交通量についてデータが無く返答が難しいのではないのでしょうか。

Q22：高速道路ができるときは、騒音は一切無いので防音壁は付けなくて良いと言っていました。しかし、夏場に窓を開けると、結構な騒音がするし、夜は、走る車のライトの光が気になるようになりました。このような事は、工事を行うときに話をしておかないと、後からは、対策工事をしてくれないのではないのでしょうか。(志手町公民館)

A22：地元が、そのようなことを懸念していると伝えます。

Q23：中町の住人です。県から、私有地を利用し騒音測定に年1度来ていました。その結果を何に利用するのか説明がなく、また、その結果がどのようなものであったかの話もありませんでした。結局、自分で騒音対策のための塀を設置しました。このようなときは、理由を説明してほしい。(志手町公民館)

A23：環境調査の為の、測定でないのでしょうか。

Q24：以前、津久見市ではインターネット補助事業をやっていたが、今はやっていないのでしょうか。ADSL事業を始めた当時、この事業では、西の内地区は対象外と言われたがどうしてか。(西ノ内公民館)

A24：以前、津久見市では、インターネット普及の為にADSL補助事業を行っていました。民間によるネット環境の普及により、現状では四浦・保戸島のみでADSL補助事業を行っています。平成29年度予算で四浦・保戸島へのブロードバンド補助を予算化しています。また、ADSL補助事業開始時に、NTT電話回線の関係で西の内地区は対象外となってしまったとの事です。

○担当課に確認：当時、西ノ内地区において、10件の方に対しADSL回線が接続できない状況がありました。理由はNTTが所有する局舎から利用者宅までのケーブルが光ファイバーに更新されていたために、市の行うADSL回線に接続できなくなっています。接続するには、ケーブルがメタルケーブルと言われる銅線のケーブルであることが必要です。(H16.12月定例会の一般質問答弁による)

Q25：保戸島小学校は、小学生が1名、中学校も数名になっていますが今後どうなるのですか。(西ノ内公民館)

A25：保戸島は、地理的制約上、津久見市内の他の学校との統合は難しい状況です。現状では、子供がいる限り学校は継続される予定です。

Q26：これまで、要望書を何年も出していますが、全く取り合ってもらえなかった。しかし、今年になって、再度また提出して欲しいと言われました。

これまでの傾向を見ると、市街地中心部に近いところの大きな道路を補修しているのが目立つが、郊外地区の小さな道路の補修などにも取り組んでほしい。

また、西教寺、第一文具店前の交差点が、大雨のたびに道路が冠水する状況が続いている事に対して、地区として長年対策を進めるように要望を出して来ましたが、しかし、それに対する回答が一切無いので、議会としてもこの問題に取り組んでほしい。(西ノ内公民館)

A26：市議会でも、一般質問などで西教寺、第一文具店前の道路冠水に関して幾度か取り上げました。

しかし、この地域では、小規模河川の水が集中するので、抜本的対策が行い難い状態が続いています。今後議会としても、引き続き市に対し取り組むように申し入れていきます。

Q27：無垢島漁港の入口は、波が高く、風による港内の波も高い対策を何かしてくれないだろうか。例えば、防波堤先端部に、消波ブロックを据えるなどの対策。台風の時などは、毎回小舟を引き上げなければなりません。地区では高齢化が進んでその作業が大変になってきています。（無垢島地区集会所）

A27：担当課に、伝えます。

Q28：避難場所となっている学校のグラウンドに、ソーラーの照明を設置してもらえないだろうか、現在は、グラウンドは、暗くて避難しても照明がありません。（無垢島地区集会所）

A28：担当課に、伝えます。

○担当課に確認：後日現地に区長と日程調整の上状況確認に伺います。

Q29：集会所の照明を、LEDに交換してもらえ得ないでしょうか。集会所の管理内容がよく分かりません。電気代は、地区が払っていますが、市役所の人たちは、無断で集会所を利用しています。（無垢島地区集会所）

A29：担当課に、伝えます。

Q30：集会所入り口の上の部分の、コンクリートが剥落していて危ない。外壁補修を、してもらえないでしょうか。（無垢島地区集会所）

A30：担当課に、伝えます。

○担当課に確認：後日現地に区長と日程調整の上状況確認に伺います。

Q31：公園の遊具が、老朽化していて危ないので撤去してほしい。地区が、撤去するにも道具がありません。（無垢島地区集会所）

A31：担当課に、伝えます。

Q32：公園内にある、浄化槽、それに付随するモーターが錆びて壊れています。施設の役割がよく分からないので、説明してほしい。必要なければ撤去してほしい。（無垢島地区集会所）

A32：担当課に、伝えます。

Q33：学校の職員住宅が、老朽化していて台風の時など物が飛来してきそうで危ない。早く解体してほしい。（無垢島地区集会所）

A33：担当課に、伝えます。

○担当課に確認：後日現地に区長と日程調整の上状況確認に伺います。

Q34：新日見トンネル、荒代トンネル内でのラジオ放送の電波を受信できるように整備できませんか。（網代公民館）

A34：担当課に聞いてみます。

Q35：サルが出没したときに、サルパト隊に連絡したが、猟期外で来てもらえなかった。農家ではないので、柵も自前で設置するしかない状態です。何とか柵の設置に対して補助はできないでしょうか。（網代公民館）

A35：政策研究会で、地産地消についての提言書を提出した際、家庭菜園を行っている所でも、有害鳥獣に対して柵の補助を行うことを求めました。しかし、現状では、農家に対してのみの補助とのことでした。

【庁舎建設についての意見】

<志手町公民館>

- 津波が来て機能を失うのでは困る。
- 今は、高齢者でも車の運転をしている人が多いので、駅の近くで無くても良いのではないかと。乗合タクシー等を、運行すれば良いのではないかと。造る以上、津波の被害に遭わないことが一番大事と考える。
- どれぐらいの、建物を考えているのか。
- これからの、津久見市の人口を考えた規模の建物を考えれば良いのではないかと。
- 駅前に建てたとき、津波が来たら水浸しになり市役所に行くことは出来なくなる。
- 大船渡市の例でいくと、大船渡市役所の建設当時は約8割の人が観光、利便性の面で反対したが、今回の大津波で被災を免れたことにより、現在では当時の人たちはよく考えて建てたものだとして評価している。と、言う話を聞いた。
- 現在の、市庁舎の向かい側（グラウンド側）に庁舎を建て、そして、現在の場所をグラウンドとして利用したらどうか。
- 昔、現在の庁舎の場所は田んぼで、もし津波が来たときには、水浸しとなり水がなかなか引かないのではないかと。
- 東北地方では、地盤が下がったりしているので、地震の後の様子を予測するのは難しい。
- 庁舎を、高いところに建てる場合と、低いところに建てる場合で補助金が出る金額は、どれ位違うのだろうか。相当な額違うのであれば、多くの補助金が出る場所が良いが、そんなに変わらないのであれば駅の近くが良いのではないかと。現在、バスも駅を中心に運行しているし、高齢者も、車に乗っているとはいえ、将来的には、もっと高齢化が進んで来るので駅の近くが良いのではないかと。また、駅の近くに高い建物があれば、避難ビルとなるのではないかと。商店街の、活性化にもつながる可能性もある。

<西ノ内公民館>

- 市庁舎の建設については、どういう物を建てるのか。
- 30年後には津久見市は、人口1万3千人ほどになると言われているのに、庁舎は国東市のような、大きなものを建てるのか。他市では、庁舎にコンビニや介護施設などを併設しているところもある。20年、30年後を見据えた庁舎を考えてほしい。
- 南海トラフによる、津波被害を考えるなら市庁舎建設は、早期に行えないのか。

<無垢島地区集会所>

- 船着き場から、近いところが一番良い。
- 高いところに造っても、免許を返せと言っている時代に遠くなったら大変。
- 今の乗合タクシーが、非常に便利です。

【中学校の統合についての意見】

<志手町公民館>

- 統合するとしたとき、現在の学校を活用するのか、または新しく学校を建てるようになるのか。
- 生徒の人口が、少なくなるのであれば仕方がない。しかし、今までより通学距離が遠くなるので、スクールバスの運行等を検討してもらえるのか。
- どこからか噂が入って、現在小学校5年生の孫が、もう2年もしたら学校の統合があると言っていた。
- 学校の運営委員会で、クラブ活動ができないものが相当あると話が出た。サッカーは、大在と一緒にやっていると聞いた。
- 学校を休校にしているとしても、借地料を払い続けなければならないのか。

以上